

取扱説明書

無線LANアクセスポイント
WHG-AC1750AF

レシートや納品書を大切に保管してください。
レシートや納品書などご購入日を証明するものが、修理の際に必要になります。

はじめにお読みください リモートメンテナンス機能利用規約

リモートメンテナンス機能(以下「本機能」といいます)とは、本製品のソフトウェアに更新があった場合に、自動でアップデートをする機能です。「更新」とは、株式会社アイ・オー・データ機器(以下「弊社」といいます)が、自動的にソフトウェアアップデートをする必要があると判断した場合をいいます。更新がある場合は弊社ホームページにてご案内いたします。なお、ソフトウェアダウンロードにより発生した通信費用はお客様のご負担となります。このことでバケット通信料超過による速度制限が発生する場合があります。

本機能では、お客様がご使用になっている製品の機器情報やネットワーク情報等の情報(以下「利用者情報」といいます)が弊社のサーバーに通知されることがとなります。弊社および弊社委託先(プロバイダ事業者や保守業者等)では、本機能で取得した利用者情報を、より適切なリモートメンテナンスおよび製品・サービスの改善・向上等のために利用いたします。当該目的のため、利用者情報を用いて、遠隔操作により製品の設定変更や再起動等をする場合もありますのでご了承ください。

利用者情報につきましては、弊社プライバシーポリシー(<https://www.iodata.jp/privacy.htm>)および弊社アプリケーション・プライバシーポリシー(<https://www.iodata.jp/privacy/idm.htm>)にしたがって適切な管理をおこない、これらのプライバシーポリシーに記載された利用目的以外の用途では利用いたしません。

本機能は工場出荷時に有効になっています。本機能を必要とされない場合は、下記【無効にする方法】で本機能を無効にしてください。本機能を無効にした場合、セキュリティ上の不具合を改善するような重要なソフトウェアの更新であっても、自動的にアップデートはおこなわれませんので、お客様ご自身で定期的にソフトウェアアップデートをおこなってください。

お客様が本機能を利用する場合、本利用規約が適用されます。本利用規約は変更される場合がありますので、最新の利用規約を下記よりご参照ください。

https://www.iodata.jp/update_p.htm

【無効にする方法】

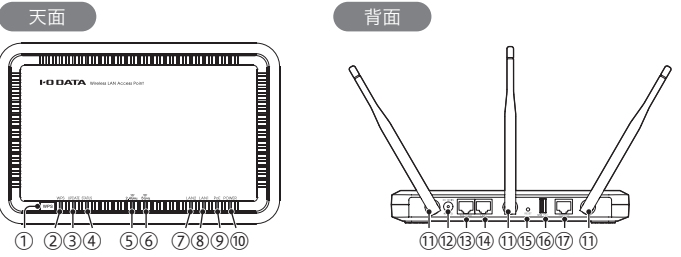
- ① 本製品の設定画面を開きます。(右記「Step2 設定画面を開く」参照)
- ② [本体設定]タブを開き、[ファームウェア]メニューを開きます。
- ③ [リモートメンテナンス機能]で[無効]を選択し、[設定]を押します。

詳しい設定方法・高度な設定・本製品の機能について
より詳しい設定方法や高度な設定、本製品の機能については、弊社Webページにて【詳細ガイド】をご覧ください。

➡ <https://www.iodata.jp/p/228955>



各部の名称・機能

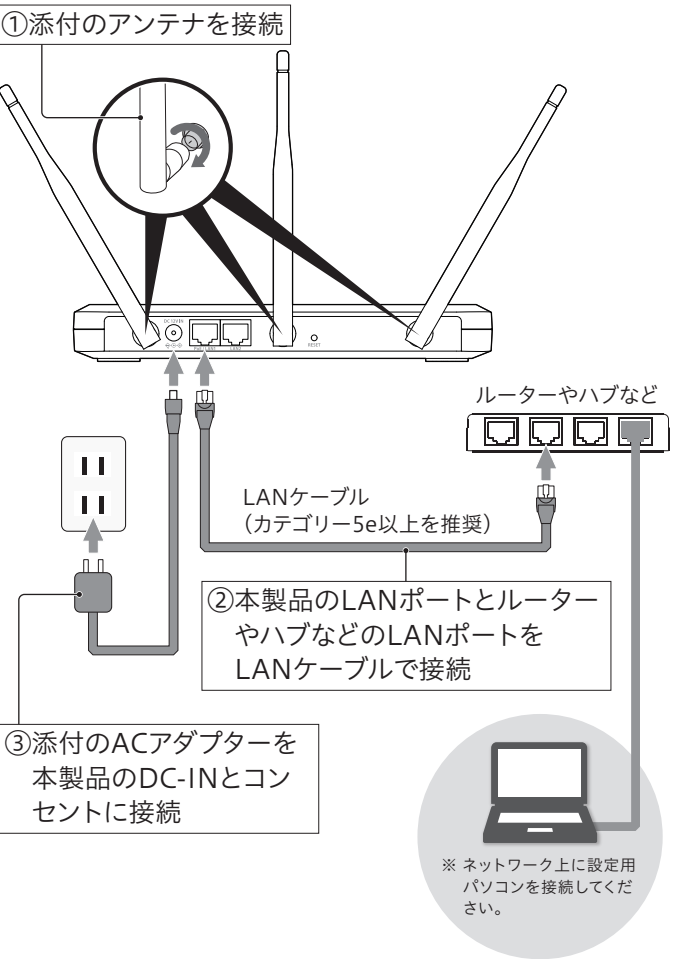


名前	説明
①WPSボタン	3秒間長押し WPSランプが点滅します。2.4GHz帯無線LANのWPSの接続設定を開始します。
	9秒間長押し WPSランプが青点滅します。5GHz帯無線LANのWPSの接続設定を開始します。
	15秒間長押し WPSランプが点滅減、UPDATEランプが点灯します。2.4GHz帯の無線設定情報のコピーを開始します。
	20秒間長押し WPSランプが青点滅、UPDATEランプが点灯します。5GHz帯の無線設定情報のコピーを開始します。
	消灯 通常動作状態
②WPSランプ	点滅減 2.4GHz帯無線LANのWPS待機状態、またはWPS接続動作中、または無線設定情報のコピー中
	点灯 2.4GHz帯無線LANのWPS接続成功、または無線設定情報のコピー成功
	早い点滅減 2.4GHz帯無線LANのWPS接続失敗、または無線設定情報のコピー失敗
	青点滅 5GHz帯無線LANのWPS待機状態、またはWPS接続動作中、または無線設定情報のコピー中
	青点灯 5GHz帯無線LANのWPS接続成功、または無線設定情報のコピー成功
③UPDATEランプ	点滅 ファームウェア更新のお知らせが届いている
	点灯 無線設定情報のコピー成功またはコピー中
④STATUSランプ	点滅 起動/再起動中、または初期化中、またはファームウェア更新中
	点滅 起動/再起動中、または初期化中、またはファームウェア更新中
⑤2.4GHzランプ	消灯 2.4GHz帯無線LAN 無効
	点灯 2.4GHz帯無線LAN 有効
⑥5GHzランプ	消灯 5GHz帯無線LAN 無効
	点灯 5GHz帯無線LAN 有効
⑦LAN2ランプ	消灯 LAN2ポート リンクなし
	点灯 LAN2ポート リンク中
⑧LAN1ランプ	消灯 LAN1ポート リンクなし
	点灯 LAN1ポート リンク中
⑨PoEランプ	点灯 PoE受電中
	点灯 電源オン
⑩アンテナ端子	添付のアンテナを接続します。
	添付のACアダプターを接続します。 ※ PoEで動作させる場合は、ここにACアダプターをつながないでください。
⑪DC-INポート	有線LAN接続したいパソコンやハブを接続します。このポートはPoE(IEEE802.3af, IEEE802.3at)の受電にも対応します。 ※ PoEで動作させる場合は、"⑩DC-IN"にACアダプターをつながないでください。
	有線LAN接続したいパソコンやハブを接続します。
⑫RESETスイッチ	STATUSランプが点滅するまで長押し(5秒)すると、出荷時設定に戻すことができます。
	USBメモリーを接続するためのポートです。保存しておいた最新のファームウェアを読み込ませたり、ログの書き出し先として使用します。 ※ 本製品に挿し込んだUSBメモリーに、パソコンからはアクセスできません。 ※ USBメモリーは消費電流300mA以下のものをご使用ください。
⑬USBポート	USBメモリーを接続するためのポートです。保存しておいた最新のファームウェアを読み込ませたり、ログの書き出し先として使用します。 ※ 本製品に挿し込んだUSBメモリーに、パソコンからはアクセスできません。 ※ USBメモリーは消費電流300mA以下のものをご使用ください。
	PCのRS-232Cポート(COMポート)につなぎ、設定・設定内容の確認ができます。接続条件など詳しくは弊社Webページにて【詳細ガイド】をご覧ください。
⑭コンソールポート(RJ-45)	PCのRS-232Cポート(COMポート)につなぎ、設定・設定内容の確認ができます。接続条件など詳しくは弊社Webページにて【詳細ガイド】をご覧ください。
	PCのRS-232Cポート(COMポート)につなぎ、設定・設定内容の確認ができます。接続条件など詳しくは弊社Webページにて【詳細ガイド】をご覧ください。

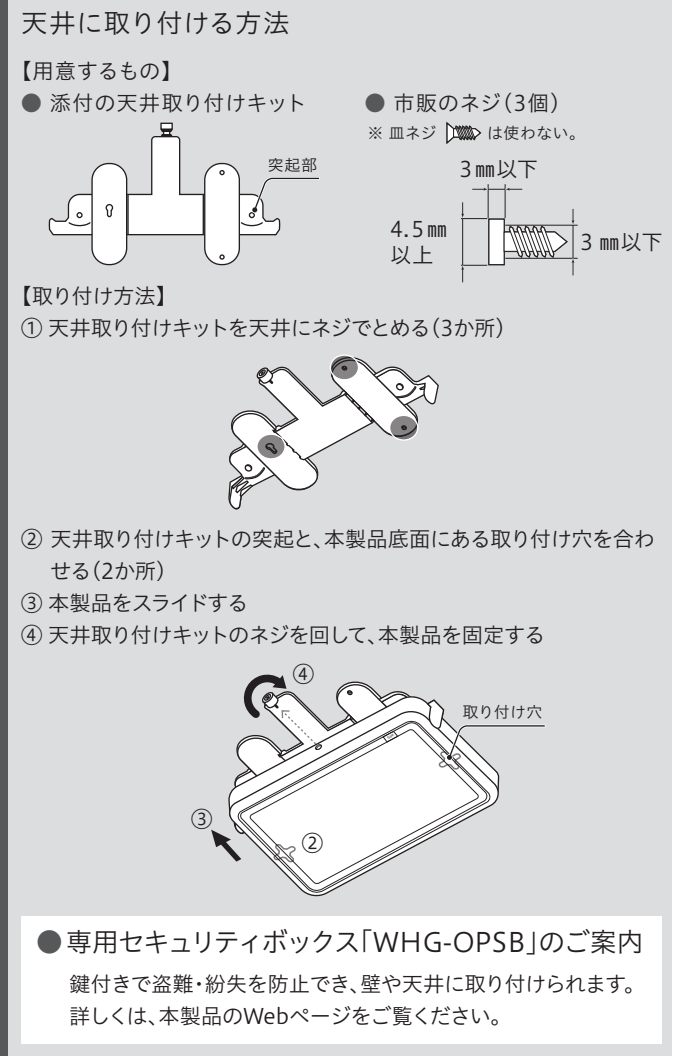
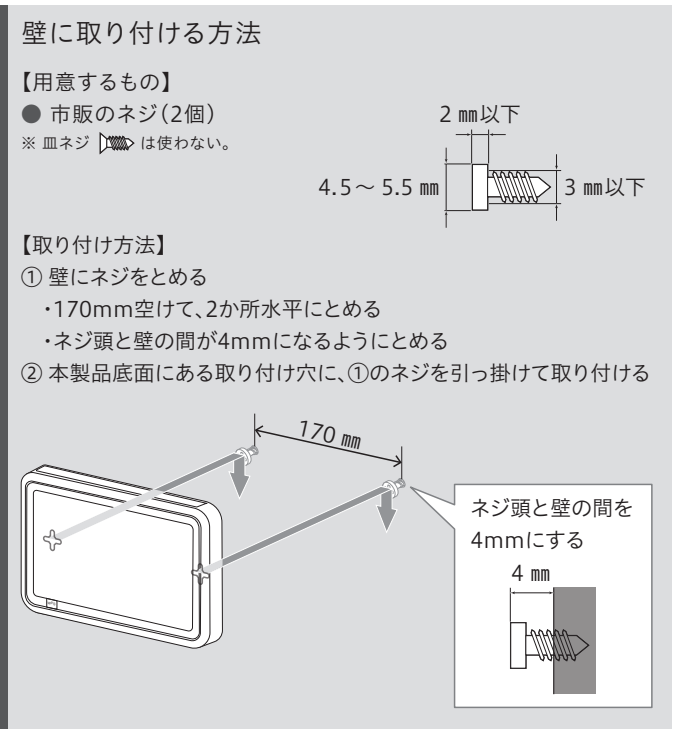
Step1 設置する

本製品の設定時は、設定用パソコンと本製品を有線LANで接続します。

※ 本製品は、出荷時設定で無線LANが無効になっています。



PoEで動作させる場合
PoE/LAN1ポートにPoE給電に対応したルーターやハブなどをつないでください。
また、本製品にACアダプターをつながないでください。



● 専用セキュリティボックス「WHG-OPSB」のご案内
鍵付きで盗難・紛失を防止でき、壁や天井に取り付けられます。詳しくは、本製品のWebページをご覧ください。

Step2 設定画面を開く

- ① 設定用パソコンを起動し、以下手順で設定アプリ「Magical Finder」をダウンロードする
①弊社ホームページにアクセス
➡ <https://www.iodata.jp/r/3022>
②Windowsの場合は[MagicalFinder]、macOSの場合は[MagicalFinder for Mac]をクリック
③ご利用のOSを選択
④[ダウンロード]をクリックし、[mfinderXXX (.exe)]を保存する(XXXは数字)
※ macOSの場合、[MagicalFinder_for_Mac_XXX.zip](XXXは数字)をダウンロードします。

- ② ダウンロードした[mfinderXXX(.exe)]をダブルクリック(XXXは数字)
※ macOSの場合、[MagicalFinder_VXXX]ファイルをダブルクリックしてください。(XXXは数字)
→手順4に進みください。

- ③ デスクトップに作成された[mfinderXXX]フォルダーを開き、[MagicalFinder(.exe)]をダブルクリックする

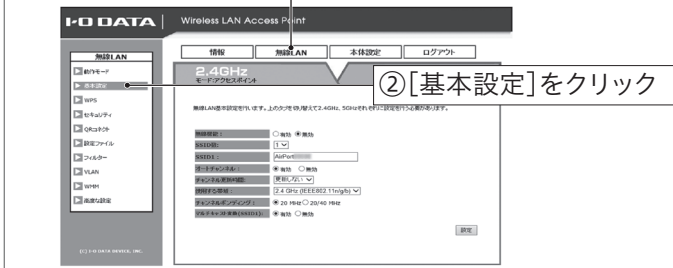


本製品が見つからない場合
● 30秒ほど待ってから、[更新]をクリックしてください。
● セキュリティ関連のソフトウェアの機能を一部解除すると動作する場合があります。一時的にセキュリティ機能を解除してご確認ください。詳しくはセキュリティ関連のソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
● 他のパソコンで確認できる場合、設定用パソコンを変更してお試しください。
● Windowsのファイアウォールの画面が表示された場合、[アクセスを許可する]をクリックします。



Step3 無線LANの基本設定をおこなう

- ① 設定画面を開く
①[admin]と入力(小文字、半角英字)
②[IODATA]と入力(大文字、半角英字)
③[ログイン]をクリック



アクセスポイント以外のモードに切り替える場合
上記画面で[動作モード]をクリックし、変更します。詳しくは弊社Webページにて【詳細ガイド】をご覧ください。

- ② 2.4GHz帯の無線LAN設定をする
※ 2.4GHz帯を使用しない場合は手順 5へお進みください。
①[有効]を選択
②[SSID数]を選択
③[SSID数]で選択した番号の[SSID]を入力
④[設定]をクリック

SSIDについて
● 半角英数字で32文字以内で入力してください。大文字/小文字の区別があります。
● パソコンやスマートフォン等を無線接続する際に必要です。メモしてください。

※ その他の設定も必要に応じておこなってください。

- ④ 設定画面を開く
④[設定反映]をクリック

- ⑤ 5GHz帯の無線LAN設定をする
※ 5GHz帯を使用しない場合は手順 7へお進みください。
①[5GHz]タブをクリック
②[有効]を選択
③[SSID数]を選択
④[SSID数]で選択した番号の[SSID]を入力
⑤[設定]をクリック

ご注意
本製品は初期設定で「無線LANバンドステアリング機能」が有効のため、2.4GHz帯と5GHz帯で「SSID1」、「セキュリティ」が同じ設定になります。
5GHz帯の「SSID1」、「セキュリティ」の設定を変更する場合、[本体設定]-[その他の設定]から「無線LANバンドステアリング機能」を無効にしてください。

SSIDについて
● 半角英数字で32文字以内で入力してください。大文字/小文字の区別があります。
● パソコンやスマートフォン等を無線接続する際に必要です。メモしてください。

※ その他の設定も必要に応じておこなってください。

- ⑥ 設定画面を開く
⑥[設定反映]をクリック

- ⑦ 暗号化の設定をする
①セキュリティ設定をする帯域のタブをクリック
②セキュリティ設定をする
③[設定]をクリック

設定するSSIDを切り替える場合
[設定]→[設定反映]をクリックしてから、切り替えてください。

- ⑧ 設定画面を開く
⑧[設定反映]をクリック

以上で、無線LANの基本設定は完了です。

安全のために

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。お使いの際には、必ず記載事項をお守りください。

▼ 警告および注意表示	▼ 絵記号の意味
警告 この表示の注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことがあります。	禁止
注意 この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損傷を与えたりすることがあります。	指示を守る

警告

- 本製品を修理・改造・分解しない
発火や感電、破裂、やけど、動作不良の原因になります。
- 雷が鳴り出したら、本製品や電源コードには触れない
感電の原因になります。

- 本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使わない
水や洗剤などがACアダプターや本製品にかかると、隙間から浸み込み、発火・感電の原因になります。
・お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺等のご使用は、特にご注意ください。
・水の入ったもの(コップ、花びんなど)を上にな置かないでください。
・万一、ACアダプターや本製品がぬれてしまった場合は、絶対に使用しないでください。

- 本製品の小さな部品(ネジなど)を乳幼児の手の届くところに置かない
誤って飲み込み、窒息や胃などへの障害の原因になります。万一、飲み込んだと思われる場合は、ただちに医師にご相談ください。

- 煙がでたり、変なにおいや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜く
そのまま使うと発火・感電の原因になります。

- 本製品の周辺に放熱を妨げるような物を置かない
発火の原因になります。

- 故障や異常のまま、つながらない
本製品に故障や異常がある場合は、必ずつないでいる機器から取り外してください。
そのまま使うと、発火・感電・故障の原因になります。

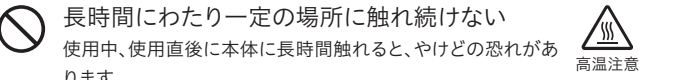
- 本製品を飛行機の中で使わない
飛行機の計器などの誤動作の原因になります。飛行機の中ではコンピューターから本製品を取り外してください。

- ベースメーカー等の産業・科学・医療用機器等の近くでは使用しない
電波によりベースメーカー等の動作に影響を与える恐れがあります。

- 本体を壁や天井などに取り付ける際は、可動部に手や指などををはさまないように気を付ける

注意

- 本製品を踏まない
破損し、けがの原因になります。特に、小さなお子様にはご注意ください。
- 長時間にわたり一定の場所に触れ続けけない
使用中、使用直後に本体に長時間触れると、やけどの恐れがあります。



無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です！)

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、
・IDやパスワード又はクレジットカード番号等の個人情報
・メールの内容
等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、
・個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
・特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
・傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
・コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)
などの行為をさせてしまう可能性があります。

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。無線LAN機器は、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があります。
従って、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。
※セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線LANの仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、株式会社アイ・オー・データ機器は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

使用上のご注意

本製品を使用する上で、以下の注意をご確認ください。

- 以下の機器は無線局と同じ周波数帯を使用します。近くでは使用しないでください。
 - ベースメーカー等の産業・科学・医療用機器等
 - 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)
 - 特定小電力無線局(免許を要しない無線局)

- 上記の近くで本製品を使用すると、電波の干渉が発生する恐れがあります。そのため、通信ができなくなったり、速度が遅くなったりする場合があります。
- 携帯電話、PHS、テレビ、ラジオを、本製品の近くではできるだけ使用しないでください。
携帯電話、PHS、テレビ、ラジオ等は、無線LANとは異なる電波の周波数帯を使用しています。そのため、本製品の近くでこれらの機器を使用しても、本製品の通信およびこれらの機器の通信に影響はありません。ただし、これらの機器を無線LAN製品に近づけた場合は、本製品を含む無線LAN製品が発する電磁波の影響によって、音声や映像にノイズが発生する場合があります。
- 間に鉄筋や金属およびコンクリートがあると通信できません。
本製品で使用している電波は、通常の家屋で使用されている木材やガラス等は通過しますので、部屋の壁に木材やガラスがあっても通信できます。ただし、鉄筋や金属およびコンクリートなどが使用されている場合、電波は通過しません。部屋の壁にそれらが使用されている場合、通信することはできません。同様にフロア間でも、間に鉄筋や金属およびコンクリート等が使用されていると通信できません。
- 法令により、5GHz帯のW52(36,40,44,48ch)・W53(52,56,60,64ch)を屋外で使用することは禁止されています。
5GHz帯のW56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)は法令により屋外での使用が可能です。本製品を屋外で使用する必要がある場合は、5GHz帯のW56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)または2.4GHz帯をご利用ください。
- 5GHz帯で使用するチャネルはW52(36,40,44,48ch)とW53(52,56,60,64ch)とW56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)です。
J52(34,38,42,46ch)の装置との通信はできません。
- W53(52,56,60,64ch)またはW56(100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch)を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
 - ・各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出をおこないますので、その間は通信をおこなえません。
 - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
- 本製品の電源を投入直す場合は、電源を切った後、5秒以上待ってから電源を入れてください。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

ハードウェア保証規定

弊社のハードウェア保証は、ハードウェア保証規定(以下「本保証規定」といいます。)に明示した条件のもとにおいて、アフターサービスとして、弊社製品(以下「本製品」といいます。)の無料での修理または交換をお約束するものです。

1 保証内容

取扱説明書(本製品外箱の記載を含みます。以下同様です。)等にしたがった正常な使用状態で故障した場合、お買い上げ日が記載されたレシートや納品書をご提示いただく事により、お買い上げ日より**3年間**、無料修理または弊社の判断により同等品へ交換いたします。

2 保証対象

保証の対象となるのは本製品の本体部分のみとなります。ソフトウェア、付属品・消耗品、または本製品もしくは接続製品内に保存されたデータ等は保証の対象とはなりません。

3 保証対象外

以下の場合は保証の対象とはなりません。

- 1) 販売店等でのご購入日から保証期間が経過した場合
- 2) 中古品でご購入された場合
- 3) 火災、地震、水害、落雷、ガス害、塩害およびその他の天災地変、公害または異常電圧等の外部的事情による故障もしくは損傷の場合
- 4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下・衝撃等お取扱いが不適当なため生じた故障もしくは損傷の場合
- 5) 接続時の不備に起因する故障もしくは損傷、または接続している他の機器やプログラム等に起因する故障もしくは損傷の場合
- 6) 取扱説明書等に記載の使用方法または注意書き等に反するお取扱いに起因する故障もしくは損傷の場合
- 7) 合理的使用方法に反するお取扱いまたはお客様の維持・管理環境に起因する故障もしくは損傷の場合
- 8) 弊社以外で改造、調整、部品交換等をされた場合
- 9) 弊社が寿命に達したと判断した場合
- 10) 保証期間が無期限の製品において、初回に導入した装置以外で使用された場合
- 11) その他弊社が本保証内容の対象外と判断した場合

4 修理

- 1) 修理を弊社へご依頼される場合は、本製品と本製品のお買い上げ日が記載されたレシートや納品書等を弊社へお持ち込みください。本製品を送付される場合、発送時の費用はお客様のご負担、弊社からの返送時の費用は弊社負担とさせていただきます。
- 2) 発送の際は輸送時の損傷を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材をご使用いただき、輸送に関する保証および輸送状況が確認できる業者のご利用をお願いいたします。弊社は、輸送中の事故に関しては責任を負いかねます。
- 3) 本製品がハードディスク・メモリーカード等のデータを保存する機能を有する製品である場合や本製品の内部に設定情報をもつ場合、修理の際に本製品内部のデータはすべて消去されます。弊社ではデータの内容につきましては一切の保証をいたしかねますので、重要なデータにつきましては必ず定期的にバックアップとして別の記憶媒体にデータを複製してください。
- 4) 弊社が修理に代えて交換を選択した場合における本製品、もしくは修理の際に交換された本製品の部品の弊社にて適宜処分いたしますので、お客様へはお返しいたしません。

5 免責

- 1) 本製品の故障もしくは使用によって生じた本製品または接続製品内に保存されたデータの毀損・消失等については、弊社は一切の責任を負いません。重要なデータについては、必ず、定期的にバックアップを取る等の措置を講じてください。
- 2) 弊社に故意または重大過失のある場合を除き、本製品に関する弊社の損害賠償責任は理由のいかんを問わず製品の価格相当額を限度といたします。
- 3) 本製品に隠れた瑕疵があった場合は、この約款の規定に関わらず、弊社は無償にて当該瑕疵を修理し、または瑕疵のない製品または同等品に交換いたしますが、当該瑕疵に基づく損害賠償責任を負いません。

6 保証有効範囲

弊社は、日本国内のみにおいてハードウェア保証書または本保証規定に従った保証を行います。本製品の海外でのご使用につきましては、弊社はいかなる保証も致しません。Our company provides the service under this warranty only in Japan.

アフターサービス

重要

- 本製品の修理対応、電話やメール等によるサポート対応、ソフトウェアのアップデート対応、本製品がサーバー等のサービスを利用する場合、そのサービスについては、弊社が本製品の生産を完了してから5年間を目途に終了とさせていただきます。ただし状況により、5年以前に各対応を終了する場合があります。
- 個人情報 は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー(<https://www.iodata.jp/privacy.htm>)に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ方法

- 1 お問い合わせいただく前に以下をご確認ください

▶ <https://www.iodata.jp/support/>

① 「Q&A よくあるご質問」を参照

② 最新のソフトウェアをダウンロード

- 2 それでも解決できない場合は、サポートセンターへ

電話 ▶ 050-3116-3025

受付時間 9:00～17:00 月～金曜日
(祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく)

メール ▶ <https://www.iodata.jp/support/after/esupp.htm>

修理を依頼する方法

保証期間**3年間**

以下を梱包し、修理センターへお送りください

レシート、納品書など
購入日を示すもの
または保証書

+

メモ
・名前・住所
・TEL / FAX番号
・メールアドレス・症状

※メモの代わりWeb掲載の修理依頼書を印刷すると便利です。

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地

株式会社 アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

※厳重に梱包してください。
弊社到着までに破損した場合、有料修理となる場合があります。
※紛失をさけるため宅配便でお送りください。
※送料は、発送時のお客様ご負担、返送時は弊社負担です。

【見積無料】有料修理となる場合は、先に見積をご連絡します。金額のご了承をいただいてから、修理いたします。
【データ】内部にデータがある場合、厳密な検査のため、内部データは消去されます。何卒、ご了承ください。バックアップ可能な場合は、お送りいただく前にバックアップしてください。弊社修理センターではデータの修復はおこなっておりません。
【シール】お客様が貼られたシールなどは、修理時に失われる場合があります。
【保証内容】ハードウェア保証規定をご確認ください。
【控え】製品名とシリアル番号(S/N)はお手元にごえておくてください。
【修理について詳しくは】以下のURLをご覧ください(修理依頼書はここから印刷できます)。
▶ <https://www.iodata.jp/support/after/>

【ユーザー登録はこちら】▶<https://ioportal.iodata.jp/>
ユーザー登録にはシリアル番号(S/N)が必要となりますので、メモしておいてください。シリアル番号(S/N)は本製品貼付のシールに印字されている12桁の英数字です。(例:ABC12345672X)

【使用ソフトウェアについて】
本製品には、GNU General Public License Version2, June 1991に基づいた、ソフトウェアが含まれています。
変更済みGPL対象モジュール、GNU General Public License、及びその配布に関する条項については、以下のWebページをご確認ください。
<http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>
これらのソースコードで配布されるソフトウェアについては、弊社ならびにソフトウェアの著作権者は一切のサポートや責を負いませんのでご了承ください。

【本製品の廃棄について】
本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例にしたがってください。

【商標について】
記載されている会社名、製品名等は一般に各社の商標または登録商標です

- 【ご注意】
- 1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
 - 2) 本製品は、医療機器、原子力設備用機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システムなどの人命に関する設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とする設備や機器として使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的損害等が生じてても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
 - 3) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用した場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービスを行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for anydamages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
 - 4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。

【マニュアルアンケート】
よりよいマニュアル作りのためアンケートにご協力願います。

